

代表は男女とも各3チーム（平成31年度より各2チームに変更となります）
但し、男・女の小・中学生の部のみ代表各1チーム。

4. 参加資格

(実業団予選)

- ・全国大会への参加選手は段級制規定に定められた有段者とする。
 - ・チーム編成は、原則として京都府内の同一官公庁・警察署・消防署・工場・会社・商店・学校（以下団体という）単位とし、平成30年4月30日以前から引き続き当該団体に正社員、正職員、契約社員（1年以上の契約）として勤務（所属）している加盟会員とする。（学校の場合、学生、生徒を除く）
 - ・上の条件でチーム編成ができない場合、同一都道府県内および他都道府県にある同一名称のつく支局・支社および各工場（子会社を含む）等とチームを統合してもよい。（チーム名にA、Bなどを冠したものは同一チームとみなす）その場合、他都道府県登録選手2名までをチームに加えることを認める。ただし、その選手の本来所属している団体が大会出場（予選会を含む）している場合、関連他チームへ加わることはできない。また本戦において、予選会で敗れたチームからの補充はできない。
- このことを、適用する団体は、申込書にその旨を明記すること。なお、チーム編成に不正または不正とみなされることがあった場合は失格とすることがある。

(全日本クラブ)

- ・参加者は平成30年度、(公財)日本卓球協会登録者で構成する団体であり、選手は選手登録。監督・コーチは役員登録を出場チームにおいて登録していること。なお、都道府県予選の申込締切日以降の新規選手登録は認められない。また、日学連、高体連に加盟している者は出場することができない。
 - ・参加チームは、同じ都道府県、所属で登録している役員、選手からなるクラブ単位とする。
(平成30年度より隣接都道府県からの参加は認めない)
 - ・出場者は（予選会を含めて）同一年度に一人一種目までとする。
 - ・男女各部について、同一クラブから複数のチームが出場することができる。
 - ・外国籍の選手（日本の出生して引き続き3年以上日本に在住している者、あるいは引き続き10年以上日本に在住している者は除く）は1チーム1名1ポイントに限って参加資格を得られる。（シングルスとダブルスに重複して出場することは出来ない。）
 - ・本大会に出場した代表チームのメンバーは、29年度全国レディース卓球大会に団体戦・個人戦を問わず出場することはできない。（ただし、予選会を除く。）
 - ・一般の部1、2部男・女は、第67回全日本実業団選手権大会（本大会）出場選手（参加登録者を含む）は出場できない。
 - ・一般の部2部男・女は、
 - ア 日本学生卓球連盟に所属していない大学同好会で、過去3年間（2014～2016）、下記の全国大会へ出場したことの無い人で構成されたチーム。
 - イ 過去3年間（2015～2017）下記の全国大会に出場したことの無い人だけで構成されたチーム。（過去3年間に下記全国大会に出場した選手が一人でも含まれる場合には1部となる）
 - ウ 全日本実業団選手権大会（予選会を除く）に参加したことのない企業チーム。
- ※下記大会に出場したことであっても40歳以上の者は一般の部2部に出場できる。
- 全国大会は、全日本卓球選手権（一般、ジュニア）、全日本選手権（団体の部）、全日本社会人選手権、国民体育大会、インターハイ（シングルス・ダブルス）、全日本大学総合選手権（個人の部）
- ・50代の部男・女は、昭和44年4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（50歳以上）
 - ・60代の部男・女は、昭和34年4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（60歳以上）
 - ・小・中学生の部男・女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また、年齢の低い者だけで構成してもよい。
 - ・参加資格に違反した場合は失格とする。なお、大会後に発覚した場合は成績（ランキング）を剥奪し、当該チームは翌年度の大会に出場できない。

5. 試合方法

- ・各種目ともトーナメント方式。（参加数によってはリーグ戦の場合もある）
- ・全日本クラブ一般の部、50代の部、60代の部共1D4Sで3番にダブルスをおく。但し、1、2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。
- ・全日本クラブ小・中学生の部は1D4Sで、1番 中学生以下S、2番 小学生S、3番 小・中学生 or 小学生同士D4番 小学生S、5番 中学生以下S（なお、1、2番の選手でダブルスを組むことはできない。また年齢の低い者が年齢の高い所へ出場することは認める）
- ・使用球はプラスチック40mmホワイト球。

6. ルール

現行の日本卓球ルールによる。

7. 参加料

実業団・クラブ予選は1チーム7,000円 但し、小・中学生の部は3,000円

8. 申込締切

5月9日（水）

9. 中央大会

全日本実業団 7月19日（木）～22日（日） 鹿児島アリーナ
全日本クラブ 7月13日（金）～16日（月・祝） 三重県津市サオアリーナ

第30回全国ホープス（西日本ホープス）卓球大会府予選会

1. 日 時 5月20日（日）午前9時～
2. 会 場 島津アリーナ京都 第2競技場
3. 種目と代表数 ①男子の部……1チーム ②女子の部……1チーム
4. 全国大会 全国は8月14日～16日にエスフォルタアリーナ八王子にて
なお、西日本代表は、男子・女子各2チーム（予選会の2位及び3位）
西日本大会日は、8月25日～26日 鳥取県立米子産業体育館
5. 参加資格 平成18年4月2日以降生まれ、1チーム3～4名編成。粒高・アンチの使用は可。
1つのクラブの選手は全て同じ都道府県の登録者であること。
その他、参加者は平成30年度（公財）日本卓球協会に登録した者（監督にて引率者含む）。

6. 試合方法 ABC XYZチームによる1D4S方式、使用球はプラスチック40mmホワイト球。
 7. 参加料 1チーム 3,000円(本大会参加料は10,000円)
 8. 申込締切 5月9日(水)

第39回京都中学生学年別シングルス大会(近畿選手権の推薦者選考も兼ねる)

1. 日 時 5月26日(土)午前9時～
 2. 会 場 伏見港公園体育館
 3. 種 目 ① 3年生以下男子シングルス ② 3年生以下女子シングルス
 ③ 2年生以下男子シングルス ④ 2年生以下女子シングルス
 4. 参加資格 協会登録の中学生、ただし両方の種目に出場できない。
 5. 試合方法 数名によるリーグ戦とリーグ1位によるトーナメント。(ただし、参加人数多数の場合は、トーナメント方式などへの試合方法の変更もあり得る。)
 使用球はTSP CP40+球
 6. 表 彰 各種目3位以内入賞
 7. 参加料 1人 500円
 8. 申込締切 5月15日(水)

<共通事項>

- 参加料 個人戦シングルス一般¥1,200・大学生¥1,000・高校ジュニア以下¥600、ダブルス¥1,500<年齢区分なし>
 団体戦¥5,000(大学生¥4,500・高校ジュニア以下¥3,500)、大会要項ごとに定めたものには注意してください
 申込方法 所定の申込用紙(男子用・混合ダブルス用はブルー、女子用はピンク)に記入し参加料を添えて申込んでください。
 申込先 京都卓球協会事務局
 なお、レディース大会に係る分は、レディース委員会よりご連絡します。

- ・振込口座名を間違わないようにしてください。
- ・申込は郵送のみでFAXでの申込は不可とします。申込締切後は一切受付致しませんのでご注意ください。(締切日必着)
- ・郵送先は〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70 京都府スポーツセンター内
 京都卓球協会 TEL/FAX 075-692-3482
- ・参加料は下記の機関に振り込んでいただき、必ず振込票コピーと大会申込書を郵送してください。もしくは申込書と参加料を現金書留にて郵送も可とします。
- ① ゆうちょ銀行 口座番号 14400-2-33465521 加入者名 京都卓球協会
- ② 京都中央信用金庫 壬生支店 普通口座 054-0208553 京都卓球協会
- ③ ゆうちょ銀行 口座番号 00970-9-106383 加入者名 京都卓球協会(同封の振込用紙)

会場の電話 島津アリーナ京都 大將軍 TEL075-462-9191、ハンナリーズアリーナ 西京極 TEL075-313-9131、
 伏見港公園体育館 中書島 TEL075-611-7081、太陽が丘 宇治市 TEL0774-24-1313

その他
 ・参加選手は、必ずゼッケンを着用のこと。
 ・大会中の負傷・物品紛失等の事故には一切責任を負いません。
 ・年代別の場合は生年月日をご記入ください。
 ・事務所は〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70 京都府スポーツセンター内
京都卓球協会 TEL/FAX 075-692-3482

(不在時急用の場合は 携帯 080-2467-4871)

なお、事務所は京都府体育協会が運営し卓球の他に十数競技団体が入室している京都府スポーツ団体事務室です。従いまして、防犯上等々の理由により申込等のための入室はご遠慮いただきますようご理解の上、ご協力よろしくお願いたします。

・また社会人リーグ関係につきましては、社会人リーグ事務局(〒610-0361 京田辺市河原御影6-3 田阪スポーツ(京田辺店) TEL0774-63-7072)へお問い合わせください。